

## 新たな高等教育機関を「4流の大学もどき」にしないために

---

---

～Lモード大学(≡プロフェッショナルスクール)の大きくて高い山を形成せよ～



2015年1月13日(火)  
株式会社経営共創基盤  
代表取締役CEO 富山和彦

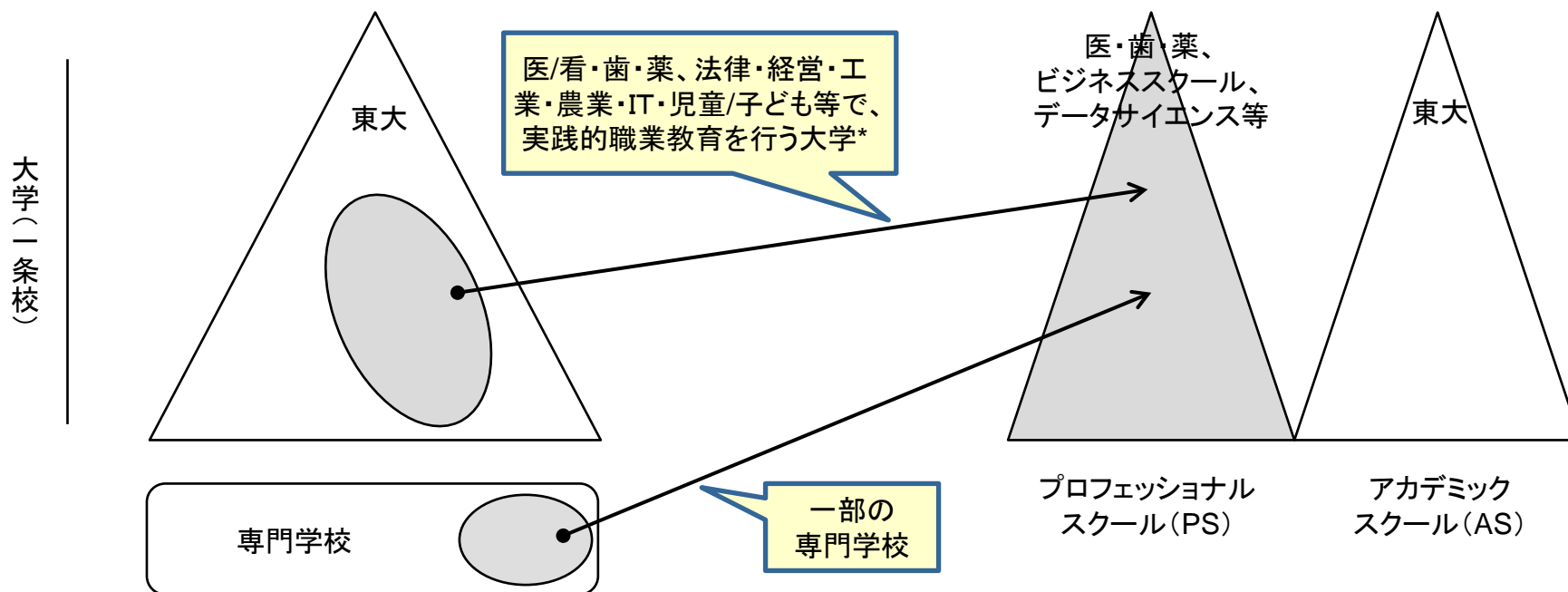
# 東大を頂点とする「シングルピーク構造」から、 アカデミックスクール・プロフェッショナルスクールの「ツインピークス構造」へ

## 現状(シングルピーク構造)

- 東大を頂点とした、アカデミアをベースとしたシングル・ピーク構造にあり、産業界が必要とするプロフェッショナル人材が輩出されにくい状況にある

## 今後(ツインピークス構造)

- 医・歯・薬等を頂点としたプロフェッショナルスクール(PS)を分離し、ツイン・ピークス構造へ
- PSを「職業教育」に重点を置いた仕組みにすることで、産業界が必要とする人材を輩出し、社会全体の生産性・効率性(≒賃金と安定雇用)を改善する



\*医/看・歯・薬(医師・看護師・薬剤師等)、法律(弁護士、司法書士等)・経営(経営実務/簿記会計)・工業(もの作り)・農業(実技/経営)・IT(プログラミング、データサイエンティスト)・児童/子ども(保育士)等

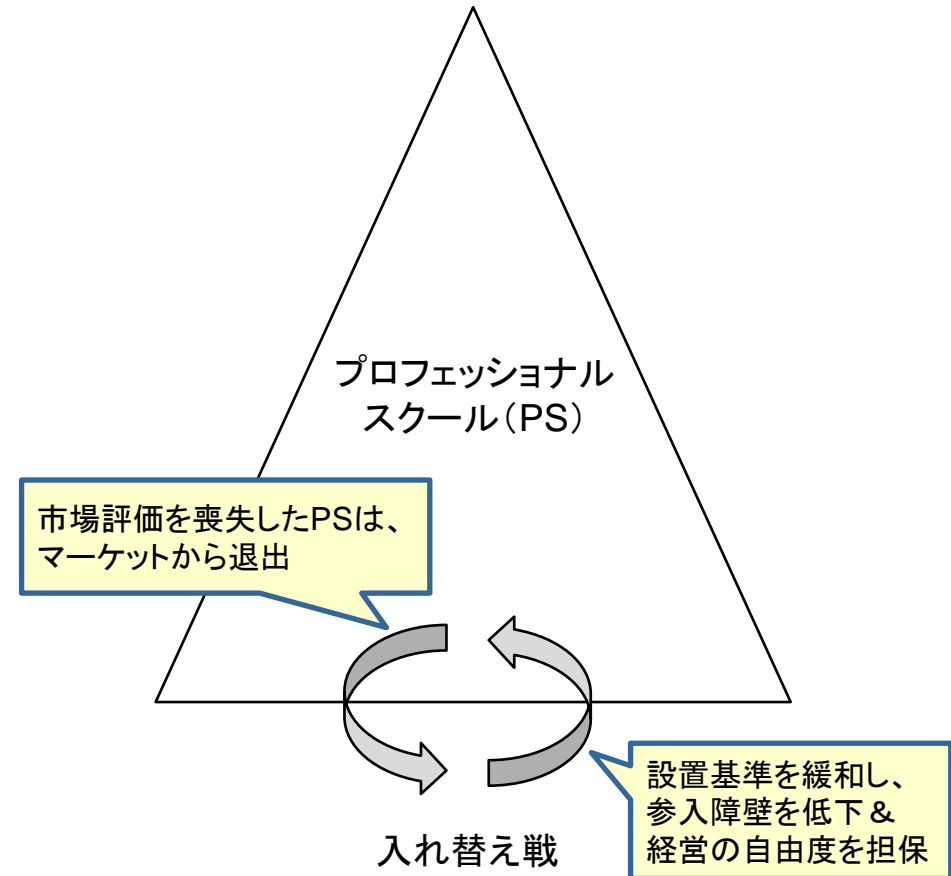
# プロフェッショナルスクールは、実務ノウハウ・技法習得を目的とした「鍛える場」へ

## ■ プロフェッショナルスクールにおける教育内容概要(例:経営学部の場合)

目的	習得方法・手段	主な教育内容(例:経営学部の場合)
<p style="text-align: center;"><b>ノウハウ習得</b></p>	<p style="text-align: center;">企業実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実習を通じ、企業現場のリアルな実態を理解し、実務ノウハウを習得する                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 経営管理実務、営業実務・商品開発実務・生産/管理実務等</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (「5Force」等のフレームや理論を教えるのではなく)、企業のリアルケースをベースとした、実務に直結する「経営技法」を習得する                             <ul style="list-style-type: none"> <li>【STEP①】:ハード型(正解/不正解があり、反復演習が重要)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- ロジカルライティング・市場調査/ヒアリング・定量分析・財務モデリング等</li> </ul> </li> <li>【STEP②】:ソフト型(答えは複数存在し、アートの世界)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- 戦略立案・商品開発・業務改善施策立案等</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ ビジネスパーソンとして備えるべきベーススキルを習得する                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 簿記・会計ソフトの使い方</li> <li>- Excel・Access・PowerPoint</li> <li>- Web系・プログラミング言語等</li> </ul> </li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>技法習得 (Arts &amp; Science)</b></p>	<p style="text-align: center;">技法の理解(講義) + 演習</p>	
	<p style="text-align: center;">ベーススキル演習</p>	

## プロフェッショナルスクール(PS)の 「質の担保」に対する基本的な考え方

- 設置基準は緩和し、参入障壁を低くするとともに、経営の自由度を担保する。その裏腹で私学助成的な財政支援も不要。
- 他方、市場原理による退出圧力が厳しくかかるようにすることで、「高い山」を形成しうる学校のみがPSとして生き残る仕組みにする。
- 学位はASとほぼ同等のものを付与するが、PSにおける学位の本質的な意味は、実業界に対する人材の品質保証。
- PSの成果である「卒業生の就職状況(数・資格試験合格者・合格率・就職先・初任給)」を同一基準で公開。PSの最終的な評価はマーケットに委ね、市場からの評価を喪失して生徒が集まらなくなったPSはマーケットから退出。



# 教員は、「究める力・教える力」ではなく、「鍛える力」で採用・評価

## ■ アカデミック／プロフェッショナルスクールにおける教員の評価視点

アカデミックスクール

VS

プロフェッショナルスクール

究める力・教える力

鍛える力

- 研究成果や論文、および学生に学問を教える力で評価

- 実業界における経験・評価、および学生を鍛え、育成する力で評価

# 市場からの退出を円滑に行うための「学生保護機構(仮称)」を設置

## ■ 学生保護機構(仮称)の概要

- プロフェッショナルスクール(PS)は、経営破綻に備え、学生保護機構(仮称)に保険料を拠出。
- 加入PSが経営破綻した場合、機構は学生保護の観点から、当該PSの整理支援・学生への資金援助等を行う。
- 機構への加入は任意とするが、加入しているPSは「学保加入スクール」として認定、公表する。

## ■ 学生保護機構(仮称)の役割

- 学生保護機構は、プロフェッショナルスクール(PS)の市場からの退出を円滑に行うため、学生保護の観点から以下の役割を担う
  - 破綻PSの整理支援  
(学生の編入先手当て、単位等の継承手続き支援等を含む)
  - 編入に伴う学生側のコスト(引っ越し・通学費用等)に対する資金援助等

## 学生保護機構(仮称)スキーム図

